明徳寺報

2024年2月5日
第589号
発　　行
住職　秦　信明
長浜市木之本町黒田

臨時総会で新役員を選出

新責任役員に神田明則氏が当選

田村和彦の三氏が選ばれる
新総代は、東野弘・神田貢・

去る1月28日（日）午後7時から臨時門徒総会を開催いたしました。また、婦人部でも2月4日（日）に臨時総会を開き、任期満了に伴う役員改選が行われました。条例により責任役員・総代・組門徒会員の任期は3年となっており、来る3月9日を持って満了となります。よって、その1か月前までに組・教区へ新役員の報告をしなければなりませんので総会を開催しました。

当選された方々は下記のとおりです。詳細については次号でお知らせいたします。

記

責任役員	神田　明則	（5組）
総　　代	東野　　弘	（4組・会計担当）
総　　代	神田　　貢	（1組・組門徒会員）
総　　代	田村　和彦	（5組・組門徒会員）

婦人部総会報告

女性組門徒会員に、澤渡とし江さんを選出

臨時総会での投票

婦人部では、去る2月4日（日）午前10時から、臨時総会と新年の集いが開催されました。総会では任期満了による女性組門徒会員の選挙があり、投票の結果、澤渡とし江さんが当選されました。任期は3月10日から3年です。

つづいて「新年のつどい」がありました。楽しい集いが始まるまでに、老院の誕生日を祝うサプライズがありました。2月3日が誕生日で、お祝いの品が贈呈され、「ハッピーバースデー・・・・」の歌をみんなで合唱してくださり感激しました。思いもかけない出来事でした。いつまでも何かと気遣ってくださることに感謝しています。

楽しいつどいでは、老院によるゲーム（間違い探し・じゃんけんホイホイ等）があり大いに盛り上がりました。また、役員の方によるクイズなどもありとても楽しいひと時となりました。最後はくじ引きをして散会となりました。準備してくださった方々に御礼申し上げます。（報告・老院）

鬼から解放される道

前住職

今年も【節分】の時がやってきました。２月３日は私の誕生日で７６才になります。昭和２３年に生まれましたので、生年月日が「２３２３」と並びがよく、自家用車のナンバーにまでしています。さて、【節分】の日となると、「鬼は外　福は内」と豆をまく光景があちらこちらで見受けられます。今年は、コロナに対する警戒心もゆるみ大勢の人が神社などへ参詣されました。

節分に豆をまく行為は、幸福を願い不幸を嫌う気持ちから出てくるものと思われ、そのような気持ちは、平生誰にでもあるものです。しかし、鬼とは何のことでしょうか。もし、自分にとって思い通りにならないことや、都合の悪い事柄を鬼とし、逆に都合の良い事柄などを福としているならば、いったい鬼はどこにいるのでしょうか。

昔、某寺の聞法会に参加しておられたおばあさんから、「毎年節分に、鬼は外福は内と豆をまいていますが、いったいいつになったらわが家から鬼がおらんようになりますかね？」と尋ねられたことがありました。私は、まずそういった疑問を持たれるのが素晴らしいことだと思い、参加者の方といろいろな意見を出し合いました。鬼とはいったいどこにおるのでしょうか。鬼とは何のことでしょうか。もし不都合等の事柄を鬼とするならば、その不都合と感じる心を鬼としている心こそが鬼ではないのかと知らされます。

実は「鬼は外」と言って豆をまく行為は、自分の都合を振りまいていることではないかと思います。「おばあさん、わが家から鬼がおらんようになるということは、そうやって豆をまく者がおらんようになったら、鬼がおらんようになるということではないでしょうか。」と、親鸞聖人は教えてくださるのではないかと、共に大切な学びをさせていただいたことがありました。自分の思いや計らい都合を絶対化・正当化し、どこまでも外に福を求め、鬼を外に見出す限り、鬼から解放されることはありません。自分が鬼であったという自覚に立った時こそ、鬼から解放される道が開かれると教えていただきました。「鬼は外福は内」と豆をまく風物詩を眺めながら、私の中にいるいっぱいの鬼に出会わさせていただきたいと思います。

春季永代経のご案内

３月９日（土）午前１０時
法話　前住職

＊志納は本堂でお預かりいたします。
＊「お斎」はありません。
＊マスクの着用は各自の判断でお願いします。

五村別院　五日会

連続講座のご案内

日時　３月５日（月）午後２時
はじめに勤行があります。
会場　五村別院　本堂
講師　百々海　真 氏（東京教区）
講題　「仏の教えは家に在り」
聴講料　５００円
＊受付は午後１時30分より。
終了は午後４時を予定しています。

明徳寺前々住職　光徳院釋信成　五十回忌法要のご案内

明徳寺第 14 代住職 光徳院釋信成の五十回忌法要を下記の通り勤修いたします。何かとご多用の中とは存じますが、ご参詣賜りますようご案内申し上げます。

尚、気持ちばかりの記念の品をお受け取りくださるようお願いいたします。（住職）

記

日時　2024 年 2 月 24 日（土）　午後 2 時

会場　明徳寺本堂

＊門徒輪袈裟を着用ください。マスクの使用は各自の判断でお願いいたします。

24 組主催行事

びっくり仰天講座のご案内

日時　3月 10 日（日）
午後 7 時～9 時 15 分
会場　充満寺（高月町西野）
講題　「真宗門徒とは
どういうこと？」
講師　速水馨氏（21 組・念慶寺）

ご参加希望の方は、2 月 19 日までに
お寺へ申し込みください。
参加費は無料です。

「福島の声を聞く研修会」ご案内

私たちは何をもって復興とするのか、目の前の人の叫びにどれだけ耳を傾けることができるのか。
震災当初の様子から 13 年後の現状に至るまでを、自身の心境を交えつつお話を伺います。

日時　２月 27 日（火）14 時～16 時
会場　長浜教務所　大谷会館
講師　藤内　淳心氏（東北教区・明賢寺）
参加費　無料
＊受付は 13 時 30 分　＊16 時に閉会いたします
＊事前の申し込みは不要です。

新教区準備委員会の進捗状況

長浜教区・京都教区新教区準備委員会では、2024 年（本年）7 月 1 日の新教区発足に向けて、協議を進めており、2024 年 3 月 29 日に準備委員会としての議決を予定されています。

その議決事項や新教区の概要について説明するため「新教区改編概要Ⅱ」を作成し、各組を巡回されました。24 組では、去る 1 月 20 日（土）午後 2 時から木之本ステックホールで説明会がありました。京都教区の議長、門徒代表、長浜教区教務所長、門徒代表らが出向され、新教区概要Ⅱを基に、新教区の教化研修計画概要及び教化事業、長浜特区に設置される長浜教化センターの設置趣旨及び教化方針、長浜教区を「特区」とする理由を始め、いくつかの課題や問題点を詳しく説明されました。

明徳寺からは、住職、前住職、組門徒会員の長谷川俊一氏と吹田静代さんが出席しました。
合併になって「新教区」が発足しますと、本年 7 月 1 日以降から、名称が「長浜教区第 24 組」が「京都教区長浜第 24 組」に変わる予定です。お尋ねのことがありましたらお寺まで。